

# かたの



R4. 4. 19  
形埜小学校  
校長室だより

## 「+α(ぷらすアルファ)で」仕事をしよう!

先週金曜日に、「委員会」が始動です。昨日のなかよしタイムは、代表委員と金曜日に決まった各委員会の委員長が集まって、初ミーティングをしました。委員会は、3年生から担います。これは、形埜小の「お得なところ」です。委員会は、みんなが気持ちよく学校生活ができるようにお仕事を進めます。そのお仕事は、「朝登校したらすぐのこと、給食をちよつと早めに食べてのこと、放課の時間」という、みんながゆっくりしている時のことばかりです。もしかしたら、「ちよつと、ゆっくりしたいな」と思うってしまうこともあるかもしれません。が、お仕事をしている時、みんなの笑顔に出会えたら、力が湧いてきませんか?ところで、おすすめしたいことがあります。委員会の活動の中で、ぜひ、自分のアイデアを提案してみましょう。そうすると、楽しくなってくるはずですよ。決められたお仕事「+α」で、のぞんでみましょう!



## 2・3年生合同体育 (4・5年生も実施)

- ◆ 合同で行うことで、(人数が増えるため)実施可能な種目が増えます。
- ◆ 友達のいろんな動きや工夫に触れ、参考にしながら、「できること」が増えると期待しています。
- ◆ 先生が二人!より安全に、そして、思うようにできずに困っている子の「おたすけ」ができます。



◆「負けるもんか!」の気持ちも今まで以上? ~授業で、うまくいかなかった「回れ右」を教室で特訓していました。



温度計のリアルな数字と体操服の組み合わせがNICE!

## 今年は、泳いだ! (18日・中日新聞より)



**3年ぶりのこのぼり**  
岡崎・日近の里 地元住民100匹飾り付け  
色とりどりのこのぼり 合計約50人が参加し、三が七日、三年ぶりに岡崎一五・日近の大きなこのぼりを、市桜形町の自然保護公園「日近の里」に飾り付けられた。小雨が降る中、地元住民らが作業し、百匹ほどが空に舞った。五月七日まで飾り立て。  
市東部の額田地域の住民を中心とするボランティア団体「日近の里を守る会」が企画。三十年からの恒例行事で、家庭で飾らなくなったこのぼりなどを譲り受けている。コロナ禍で二年間、飾り付けを中止していた。  
作業には会のメンバーを  
だ。  
(鈴木 渉)

2年間中止になっていた「日近の里」のこのぼり、~「形埜の子供達が見たがっている」「子供達に見せたい」という思いの元、地域の方が雨の降る中、飾ってくださったものです。写真でしか見たことなかった私は、実物を見て心が震えました…。